

OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

PowerAct Pro Ver4.x
(マスターエージェント for Mac)
インストールガイド

オムロン株式会社

電子機器事業本部

OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

【目次】

1. POWERACT PRO (マスターエージェント FOR MAC) の動作環境	3
2. UPS とコンピュータを接続する	4
3. インストールを始める前に	6
4. インストール手順	7
5. 接続の確認	19
6. POWERACT PRO モニタの表示	21
7. 環境設定について	25
8. スケジュール運転の設定	36
9. シャットダウン動作の流れ	40
10. シャットダウン動作の確認	42
11. バッテリ交換時の設定	43
12. アンインストール手順	44

OMRON	PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド	
	マスターエージェント for Mac	Rev C

1. PowerAct Pro (マスターエージェント for Mac) の動作環境

対応コンピュータ	Apple 製 eMac、iMac、Power Mac、Mac mini、Mac Pro、Xserve	
対応 OS と 対応プラットフォーム	Mac OS X 10.8.x Mountain Lion Mac OS X Server 10.8.x Mountain Lion	Intel CPU Core2 Duo、Core i3/i4/i7、xeon
	Mac OS X 10.7.x Lion Mac OS X Server 10.7.x Lion	Intel CPU Core2 Duo、Core i3/i4/i7、xeon
	Mac OS X 10.6.x Snow Leopard Mac OS X Server 10.6.x Snow Leopard	Power PC G4、 Power PC G5、Intel CPU
	Mac OS X 10.5.x Leopard Mac OS X Server 10.5.x Leopard	Power PC G4、 Power PC G5、Intel CPU
WWW ブラウザ	Apple Safari	
HTTP サーバ	Mac OS 標準の Apache サービス	
RAM	1GB 以上	
ハードディスク容量	2GB 以上	
インターフェース	USB	
ネットワークカード	10Mbps 以上のネットワークカード	
プロトコル	TCP/IP	

2. UPS とコンピュータを接続する

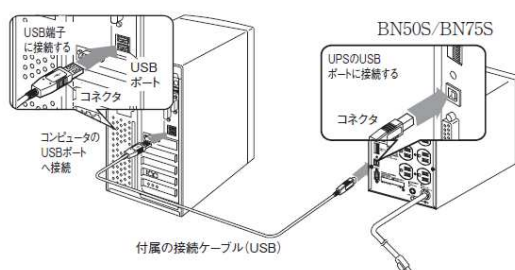
「PowerAct Pro マスターエージェント」は、UPS とコンピュータを専用の通信ケーブル(USB)で直接接続されている時に、コンピュータを自動シャットダウンさせるためのソフトウェアです。

コンピュータと UPS を添付の専用ケーブルで接続します。UPS に接続するコンピュータの台数(1台 or 複数台)の条件により、接続方法が異なります。下記を参照ください。

【UPS に1台のコンピュータを接続する場合】

コンピュータには「PowerAct Pro マスターエージェント」をインストールします。

< USB 接続 >

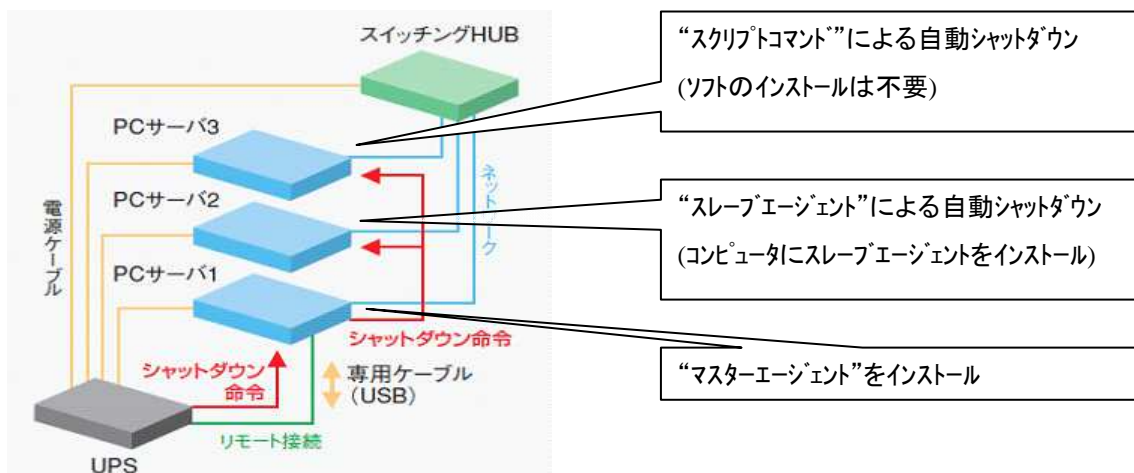


【UPS に2台以上のコンピュータを接続する場合】

UPS と専用ケーブル(USB)で直接接続されているコンピュータには「PowerAct Pro マスターエージェント」をインストールします。それ以外のコンピュータには「PowerAct Pro スレーブエージェント」をインストールするか、「PowerAct Pro マスターエージェント」からスクリプトコマンドを発行させることによりコンピュータを自動シャットダウンさせることができます。

※本インストールガイドはマスターエージェント用です。スレーブエージェントのインストール方法については別紙のインストールガイドを参照ください。

※各コンピュータは同一セグメント上のネットワークに接続して下さい。もし、同一セグメントでネットワーク接続できない場合はコンピュータにネットワークインターフェースカードを追加するなどしてLANポートを増設し、同一セグメントに属するよう設定して下さい。



[参考]マスターエージェント と スレーブエージェントについて

●マスターエージェント

UPS を USB にて直接制御するサーバ・パソコンにインストールする。

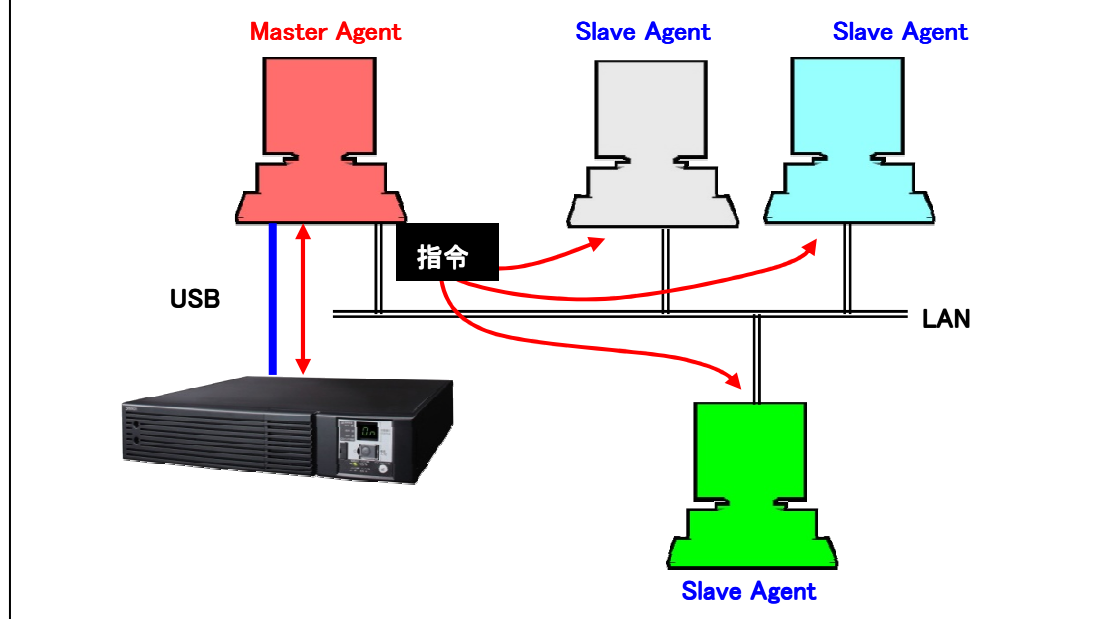
UPS の監視/制御、LAN上につながるサーバ・パソコンの起動/停止をも一元的に管理。

UPS に実装して使用される「SC20G」も、UPS を直接制御するため、マスターエージェントとして機能する。

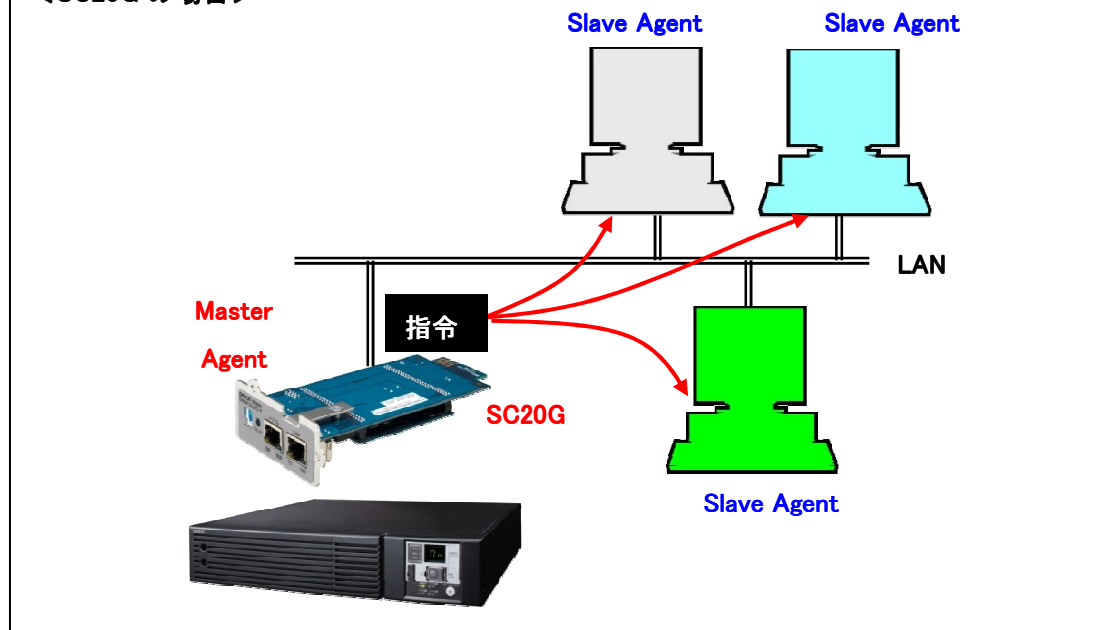
●スレーブエージェント

マスターエージェントからの指令に基づき、サーバ・パソコンをシャットダウンする。UPS の制御は行わない。

<PowerAct Pro の場合>



<SC20G の場合>



OMRON	PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド	
	マスターエージェント for Mac	Rev C

3. インストールを始める前に

最初にインストール時の注意点を確認してください。

1. お使いのコンピュータ環境で、システムが正常に終了できることを確認してから、本インストール作業を開始してください。システムが正常に終了できない環境にインストールしても、本ソフトウェアによるシャットダウン動作は正常に行えません。
2. 他の自動シャットダウンソフトウェアを使用している場合は、必ずそのソフトウェアをアンインストールし、システムを再起動した後に本ソフトウェアのインストールを行ってください。各ソフトのアンインストール方法は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。
3. UPS との接続を行ってから本ソフトウェアのインストールを行ってください。
4. 本ソフトウェアをインストールするためには、CD-ROMドライブが必要です。
5. 本ソフトウェアは、オムロン製 UPS およびオムロン製 OEM 供給品の UPS 以外では使用できません。
6. 管理者権限があるユーザ名で Mac OS X へログインしてください。

	PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド	
	マスターエージェント for Mac	Rev C

4. インストール手順

《PowerAct Pro マスターエージェントのインストール》

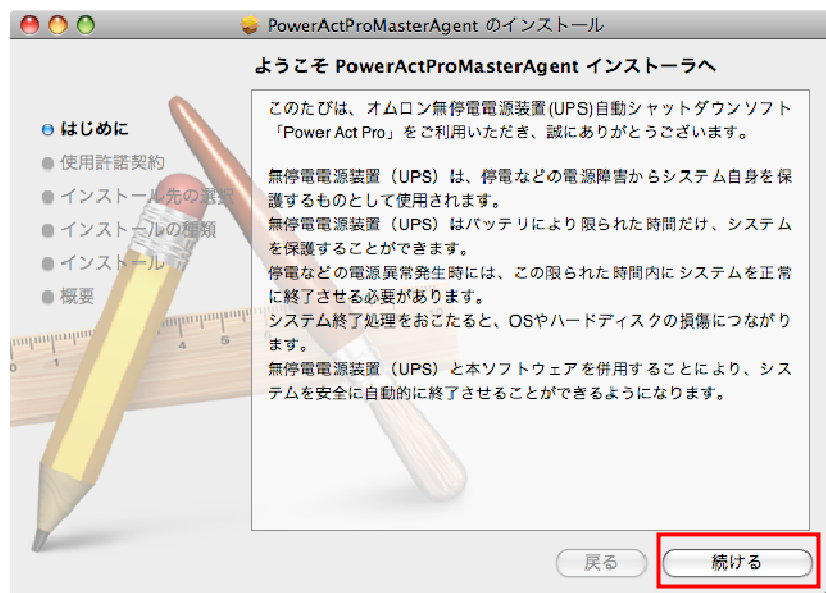
※1台のUPSに2台以上のコンピュータを接続されている場合は、マスターエージェント用のコンピュータに先にインストールしてから、スレーブエージェント用のコンピュータにインストールしてください。

以下の手順に従って PowerAct Pro(Master Agent)をインストールします。

1. Mac OS X を起動した後に、本ソフトウェアの CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. CD-ROM 内の[PowerAct Pro(Master Agent)]アイコンをクリックします。
[格納ディレクトリ]
[Software] > [PowerAct_Pro] > [Ver4x] > [Mac] > [Program] > [Master]

※CD のバージョンにより格納ディレクトリが多少変わることがあります。

3. [続ける]ボタンをクリックします。



4. 使用許諾契約の内容を確認し、[続ける]ボタンをクリックします。

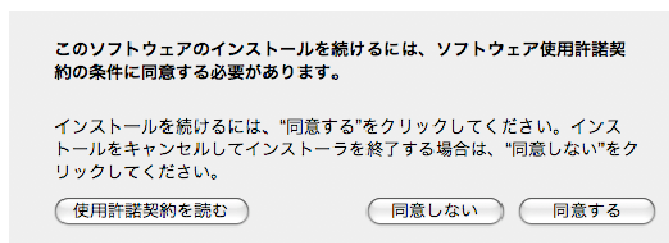


OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

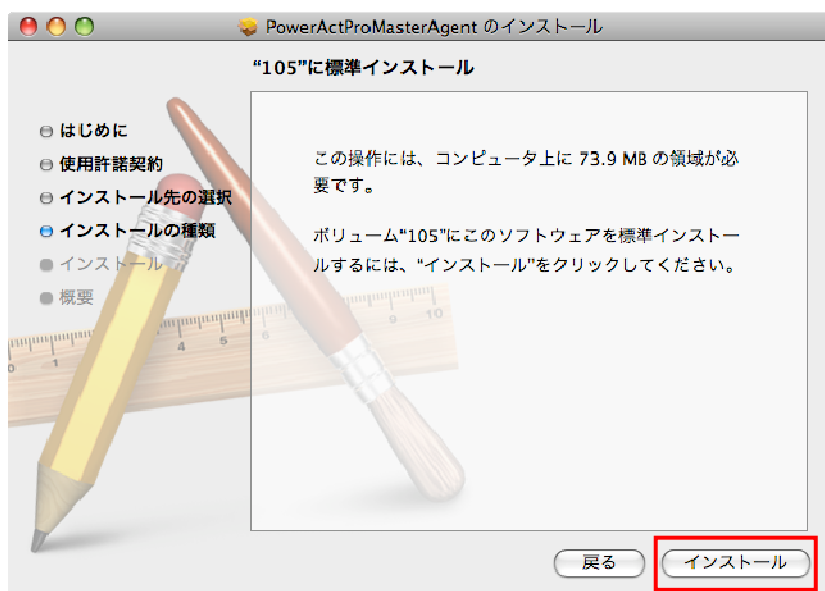
マスターエージェント for Mac

Rev C

5. 使用許諾契約に同意いただける場合は[同意する]に、同意いただけない場合は[同意しない]のボタンをクリックします。同意いただけない場合は本ソフトウェアを使用できませんので、インストールを中止してください。



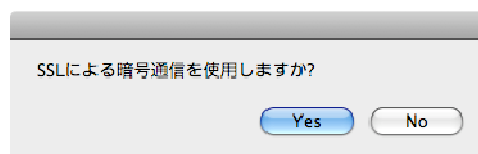
6. [インストール]ボタンをクリックします。



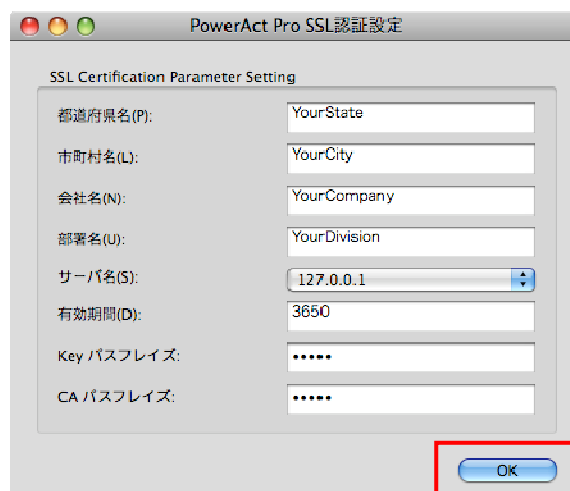
7. 管理者権限があるユーザのログインパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。



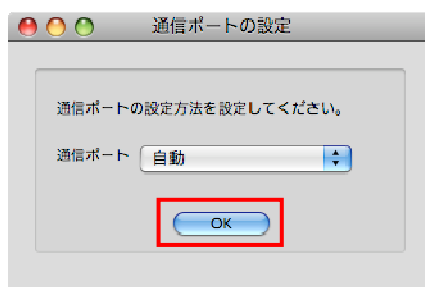
8. SSL 暗号通信の使用の有無を設定します。ブラウザと Apache 間の通信に SSL 暗号通信を使用する場合は[Yes]を、使用しない場合は[No]をクリックしてください。



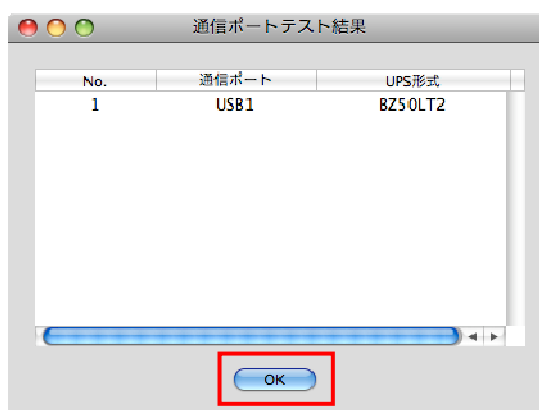
9. SSL 暗号通信を使用するかどうかのダイアログで[Yes]を選択した場合は、SSL 認証設定画面になります。SSL 暗号通信に必要な項目を入力し、[OK]をクリックします。デフォルトで設定が入力されているものはデフォルト設定のままで構いません。



10. 通信ポートの設定の項目ではそのまま[OK]をクリックしてください。



11. コンピュータに接続されている UPS が自動的に検索され、通信テストが実行されてから通信ポートテスト結果が表示されます。結果を確認したら[OK]をクリックします。



OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

12. UPS の使用開始日、バッテリーの使用開始日(交換日)、次回のバッテリー交換(予定日)を入力して[OK]をクリックします。[キャンセル]をクリックするとこの操作が無効になり次の操作に移ります。

バッテリー使用開始日 (交換日) 設定

【注意】 2000-01-01以前の日付を設定することはできません。
設定する日付を再入力してください。

UPS使用開始日:
USB 1 2010/03/12

バッテリー使用開始日 (交換日):
2010/03/12

次回のバッテリー交換 (予定日):
2011/03/12

OK キャンセル

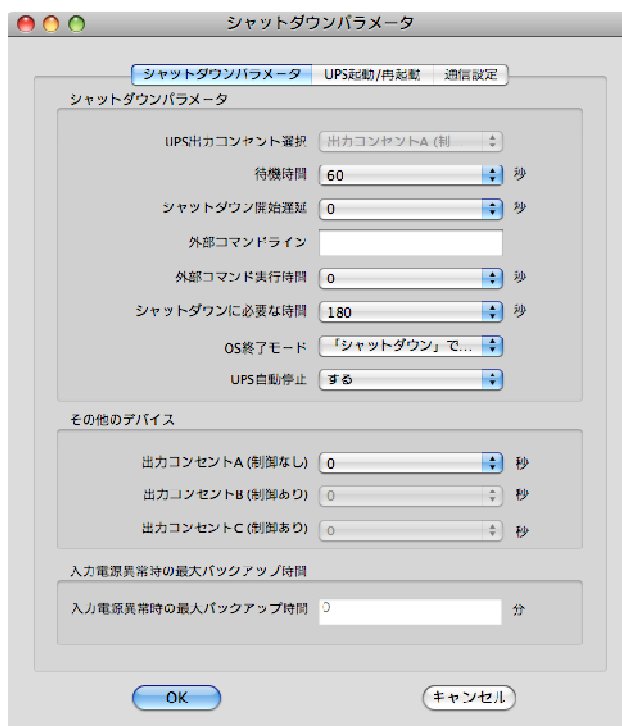
13. バッテリー使用開始日の確認画面が表示されます。内容を確認し、[OK]をクリックします。

バッテリー使用開始日 (交換日) 設定結果

No.	通信ポート	バッテリー使用開始日
1	USB1	2010-03-12

OK

14. 下表の説明に従って、マスターエージェントのシャットダウンパラメータを設定し、[OK]をクリックします。



項目	設定内容と方法
[シャットダウンパラメータ]タブ	
UPS 出力コンセント選択	PowerAct Pro マスターエージェントをインストールしたコンピュータがどの出力コンセントに接続されているかを選択します。 ※出力コンセント制御をサポートしていないUPSをご使用する場合は選択不要です。
待機時間	電源異常が発生してからシャットダウン動作を開始するまでの待機時間を秒単位で設定します。 0～36000 秒の範囲で選択できます。(デフォルトは 60 秒。0～60 秒までは 10 秒間隔、60～36000 秒までは 60 秒間隔)
シャットダウン開始遅延	複数台のコンピュータがある場合、他のコンピュータとシャットダウン開始のタイミングを遅らせたい場合に設定します。 60 秒間隔で 0～600 秒の範囲で選択できます。(デフォルトは 0 秒)
外部コマンドライン	シャットダウン動作が開始されるのと同時に起動されるプログラムのコマンド名を入力します。例えば、バックアップデータを特定のディスクに保存するなどのプログラムが考えられます。
外部コマンド実行時間	外部コマンドの実行に必要な時間を設定します。60 秒間隔で 0～600 秒の範囲で設定できます。 なお、この時間が経過するまでは、シャットダウン動作を一時停止します。(デフォルトは 0 秒)
シャットダウンに必要な時間	OS のシャットダウンに必要な時間を設定します。 60 秒間隔で 0～1800 秒の範囲で選択できます。(デフォルトは 180 秒)
OS 終了モード	OS 終了モードは「シャットダウンで終了する」固定です。
UPS 自動停止	コンピュータのシャットダウンが完了した後、UPS を自動的に停止するかどうかを設定します。

OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

項目	設定内容と方法
出力コンセント A (制御なし)	出力コンセント A にコンピュータ以外の負荷を接続している場合、その負荷を停止させるのに必要な時間を設定します。
出力コンセント B (制御あり)	出力コンセント B にコンピュータ以外の負荷を接続している場合、その負荷を停止させるのに必要な時間を設定します。 ※出力コンセント制御をサポートしていない UPS をご使用の場合は、この機能は使用できません。
出力コンセント C (制御あり)	出力コンセント C にコンピュータ以外の負荷を接続している場合、その負荷を停止させるのに必要な時間を設定します。 ※出力コンセント制御をサポートしていない UPS をご使用の場合は、この機能は使用できません。

※出力コンセント制御をサポートしている UPS をご使用の場合は出力コンセント B・出力コンセント C の項目に必ず時間を設定してください。

デフォルトは 0 秒に設定されており、待機時間が経過したと同時に出力コンセント B・出力コンセント C は出力停止します。

※出力コンセント制御機能付き UPS (Mac 対応機種のみ)

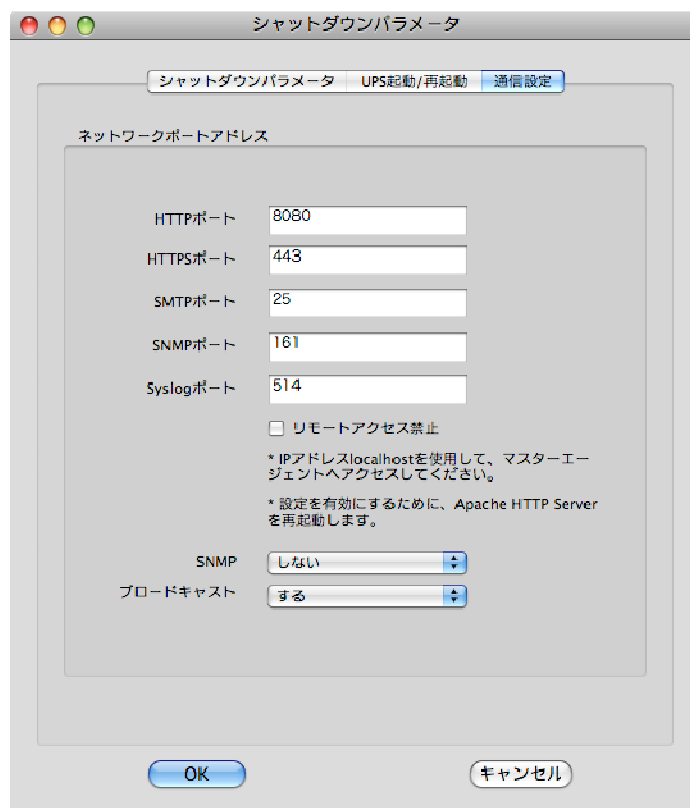
BN220S / BN300S / BN100XR / BN150XR / BN240XR

BU75RW / BU100RW / BU200RW / BU300RW

項目	設定内容と方法
入力電源異常時の最大バックアップ時間	PowerAct Pro によるシャットダウンとは別に UPS 本体側に入力電源異常時の最大バックアップ時間を設定できます。 通常は入力不要ですが、サーバーが起動していない時に停電があった際も一定時間後に UPS を自動停止させたい場合に入力します。



項目	設定内容と方法
[UPS 起動/再起動]タブ	
UPS 起動時の出力開始遅延時間	UPS が起動するときに、出力コンセント別に出力遅延時間を秒単位で設定します。ただし、出力コンセント A については 0 秒固定です。 ※出力コンセント制御機能のない UPS を接続している場合は選択できません。 ※出力開始遅延時間設定は「OK」を押しても即座には反映されません。停電を発生させたり、メニュー画面から「即時シャットダウン」を選択するなど自動シャットダウン処理を行うことで UPS に反映されます。
UPS 自動再起動	電源異常が回復した後で、UPS を再起動するかどうかを設定します。
UPS 起動遅延時間	電源異常が回復した後で、UPS を再起動するまでの遅延時間を秒単位で設定します。
バッテリー容量オーバ	設定されたバッテリー容量に充電されるまで、UPS を起動させたくない場合に設定します。
UPS コールドスタート機能	UPS コールドスタート機能を有効にするか設定します。コールドスタート有効に設定すると、UPS は電源入力がない環境でも起動させることができます。



項目	設定内容と方法
	[通信設定]タブ
ネットワークポートアドレス	<ul style="list-style-type: none"> ・ご使用のネットワークの状況に合わせて、HTTP、HTTPS、SMTP、SNMP、Syslog ポートの各ポート番号を設定します。通常は、デフォルト値を使用します。もし他のサービスとポート番号が重複している場合は、別の番号を設定してください。※1 ・[リモートアクセス禁止]を選択するとリモートコンピュータからの操作を禁止することができます。 ・[SNMP]は SNMP 管理を行う時に設定を“しない”から“する”に変更してください。 “する”に変更すると SNMP マネージャに対して、UPS 管理情報の送信を行います。 ・[ブロードキャスト]は通常は“する”に設定してください。“しない”に設定すると、PowerAct Pro はスレーブエージェントの連携シャットダウンを行うことができません。

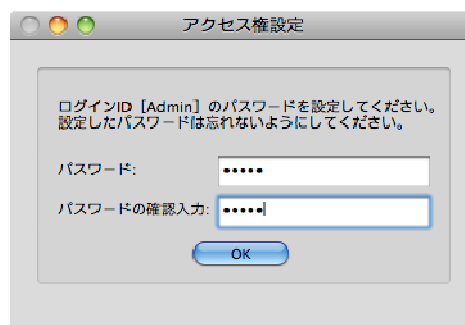
※1 Mac OS X 10.7.x において、OS 標準機能のプロファイルマネージャを ON に設定している場合は、HTTP ポートを 8080 以外のポート番号に設定してください。
また、OS 標準の Web サービスを ON に設定している場合は、HTTPS ポートを 443 以外のポート番号に設定してください。

OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

15. 管理者用のパスワードを設定します。画面の指示に従って設定してください。15文字以内の半角英数字(A～Z、a～z、0～9)で指定します。英字の大文字と小文字が区別されることに注意してください。

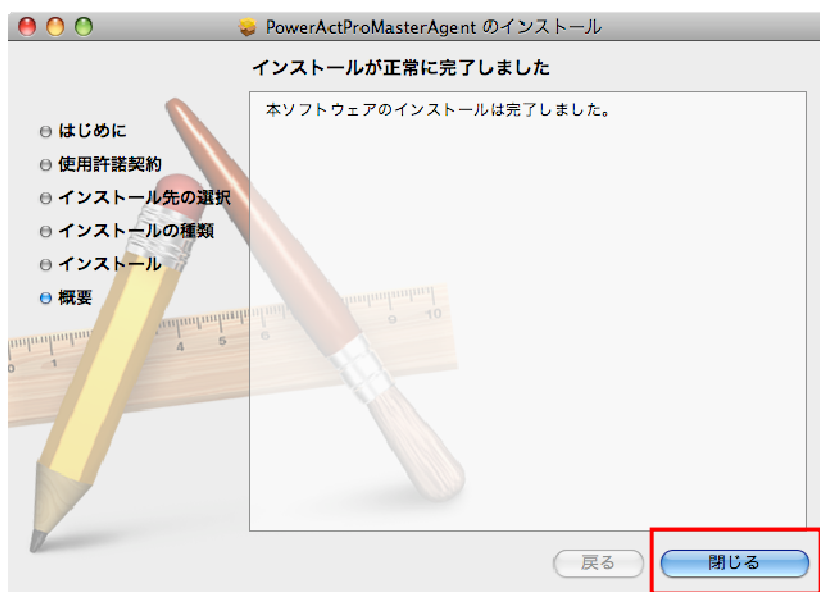


16. 確認のためパスワードを再入力し、[OK]をクリックします。

※ ログイン ID の「Admin」と「パスワード」はセットで控えておくことをお勧めいたします。

ログイン ID「Admin」(管理者)用パスワードはインストール後に変更することもできます。

17. CD-ROM を取り出し[閉じる]ボタンをクリックします。PowerAct Pro のエージェントが自動的に起動し、Mac OS X のデスクトップ画面に戻ります。



OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

18. Mac OS X で PowerAct Pro モニタ画面を表示させるためには Safari の設定変更を行う必要があります。Safari を起動後に設定画面を出して[ポップアップウィンドウを開かない]のチェックを解除してください。

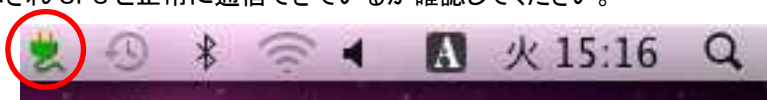


以上で、PowerAct Pro マスターエージェントのインストールは終了です。

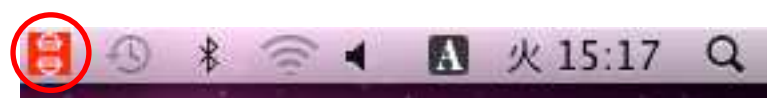
5. 接続の確認

PowerAct Pro マスターエージェントをインストールしたコンピュータでは、タスクバーに PowerAct Pro アイコン ([電源プラグ]のアイコン)が自動的に作成され、接続されている UPS との通信が開始されます。

下記のアイコンが表示され UPS と正常に通信できているか確認してください。



何らかの理由で UPS と通信ができない場合や UPS に異常が発生している場合は、PowerAct Pro アイコンが次のように表示されます。このような場合は、PowerAct Pro オンラインヘルプの「困ったときには」の説明に従ってご確認ください。



異常が発生した場合は次の事項を確認してください。







- 1、コンピュータと UPS を接続している付属ケーブルが外れていないか。
- 2、UPS を接続しているコンピュータの USB ポートが使用可能な状態か。
- 3、UPS のバッテリーが接続されているか。
- 4、UPS が故障していないか。
- 5、経年劣化や長期間の未開封保管によりバッテリー劣化を起こしていないか。

OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

<表示の見方について>

アイコン表示	表示内容例
 (Master Agent)  (Slave Agent)	商用運転中 正常
	バックアップ運転中 正常
	バックアップ運転中 バッテリロー
	接続容量オーバー 正常
	バイパス運転中 正常
	ハードウェア異常 正常
	商用運転中 バッテリ劣化
	商用運転中 バッテリ未接続
	通信エラー
 (Master Agent)  (Slave Agent)	エージェント停止

OMRON	PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド	
	マスターエージェント for Mac	Rev C

6. PowerAct Pro モニタの表示

UPS の制御や設定は、PowerAct Pro モニタ画面から行います。PowerAct Pro モニタは次の手順で表示します。

■PowerAct Pro (Master Agent) がインストールされているコンピュータからのアクセス方法

2種類のアクセス方法があります。

デスクトップ上のアイコンから

デスクトップ上に表示されている**電源プラグ(グリーン色)**アイコンをクリックしてください。



Web ブラウザから

Web ブラウザを起動します。

[アドレス]欄に次のように入力し、[return]キーを押します。(注意: アドレス末尾の「/」は必ず入力してください。)

【ネットワークポートを変更していない場合の入力フォーマット】

入力: http://127.0.0.1/PowerAct_Pro/ または http://localhost/PowerAct_Pro/

【ネットワークポート(****)を変更している場合の入力フォーマット】

入力フォーマット: http://127.0.0.1:****/PowerAct_Pro/ または http://localhost:****/PowerAct_Pro/

入力例: http://127.0.0.1:8080/PowerAct_Pro/ または http://localhost:8080/PowerAct_Pro/

■他のコンピュータからの PowerAct Pro (Master Agent) がインストールされているコンピュータへのアクセス方法

Web ブラウザから

Web ブラウザを起動します。

[アドレス]欄に PowerAct Pro マスターエージェント(以下マスター)をインストールしたコンピュータの IP アドレスを次のように入力し、[return]キーを押します。(注意: アドレス末尾の「/」は必ず入力してください。)

【ネットワークポートを変更していない場合の入力フォーマット】

入力フォーマット: http://***.***.***.***/PowerAct_Pro/

入力例: http://192.168.1.100/PowerAct_Pro/

【ネットワークポートを変更している場合の入力フォーマット】

入力フォーマット: http://***.***.***.***:****/PowerAct_Pro/

入力例: http://192.168.1.100:8080/PowerAct_Pro/

【備考】

コンピュータの IP アドレス:***.***.***.***

ネットワークポートアドレス:++++

OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

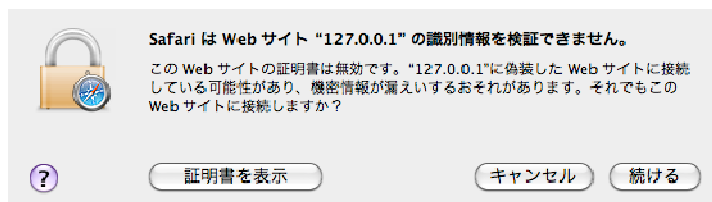
マスターエージェント for Mac

Rev C

■インストール時に SSL 暗号通信の使用を選択した場合、以下の警告メッセージが表示されます。

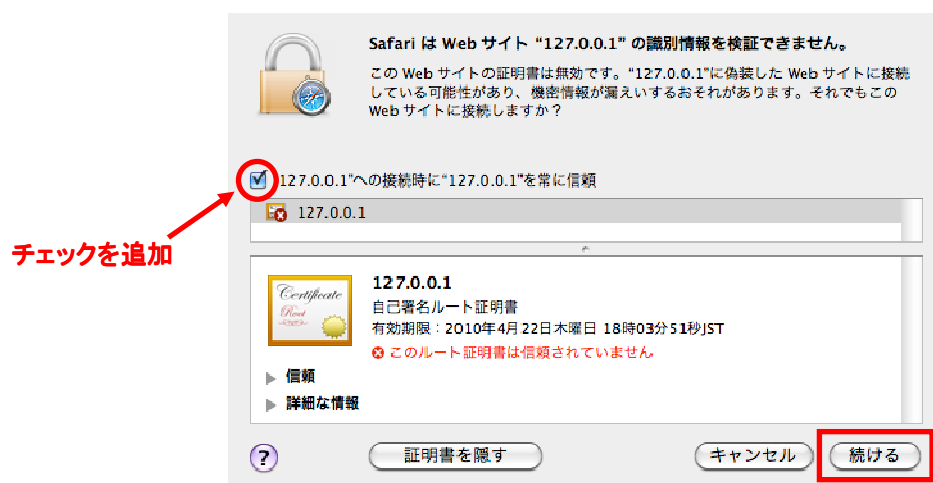
そのまま[続ける]を選べば PowerAct Pro モニタ画面が表示されます。

警告メッセージの抑止設定をする場合は[証明書を表示]をクリックします。



[***.***.***.***への接続時に***.***.***.***を常に信頼]にチェックを入れ、[続ける]をクリックします。

..***.***には PowerAct Pro をインストールしたコンピュータの IP アドレスが表示されます。



管理者権限があるユーザのログインパスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。

この操作で警告メッセージは表示されなくなります。



■ネットワーク上の PowerAct Pro エージェントの一覧が表示されます。

PowerAct Pro モニタの[エージェント自動検索]画面で、マスターエージェントの名前をクリックします。

各エージェントを示すアイコンは次のとおりです。



アイコン	エージェント
	マスターエージェント
	スレーブエージェント

[ログイン](Login)画面で、ログイン ID (Admin)と PowerAct Pro マスターエージェントのインストール中に設定したパスワードを入力し、[設定](OK)ボタンをクリックします。

OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

PowerAct Pro モニタのメイン画面が表示されます。



7. 環境設定について

■環境設定の表示

マスターエージェントの基本的なシャットダウン設定については、インストール時に行いましたが、インストール完了後に設定確認、変更等を行いたい場合は、[環境設定]をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Power Act Pro Monitor' application window. The left sidebar contains several menu items: システム, ログ, UPS 設定, 環境設定 (highlighted with a red box), スケジュール, イベント情報, イベントログ, データログ, 終了アプリケーション情報, エージェント検索, and ヘルプ. The main area displays the following information:

- 日時: 2010年03月24日 10:51:34
- 次回のバッテリー交換: 2011-03-23
- 前回のバッテリー使用開始日(交換日): 1902年03月24日
- UPS型式: BZ50LT2
- UPS状態: 商用運転中
- 出力コンセントA (制御なし): 出力中
- 出力コンセントB (制御あり): 未対応
- 出力コンセントC (制御あり): 未対応
- バッテリー状態: 正常
- 増設バッテリー:
- ブザー: ならず
- ファンクションテストステータス: する
- バッテリー自動テスト: する
- UPSコールドスタート機能: 未対応
- 出力電圧/入力感度: 100V /標準感度
- UPS自動再起動: する
- 通信ポート: USB 1
- 設定
- テスト結果:

Below this information are several progress bars and numerical values:

- 入力電圧: 100.1 V
- 出力電圧: 100.1 V
- 入力周波数: 50.1 Hz
- 出力周波数: 50.1 Hz
- 接続容量: 4 %
- バッテリー容量: 100 %

At the bottom, there is a log section with the following entries:

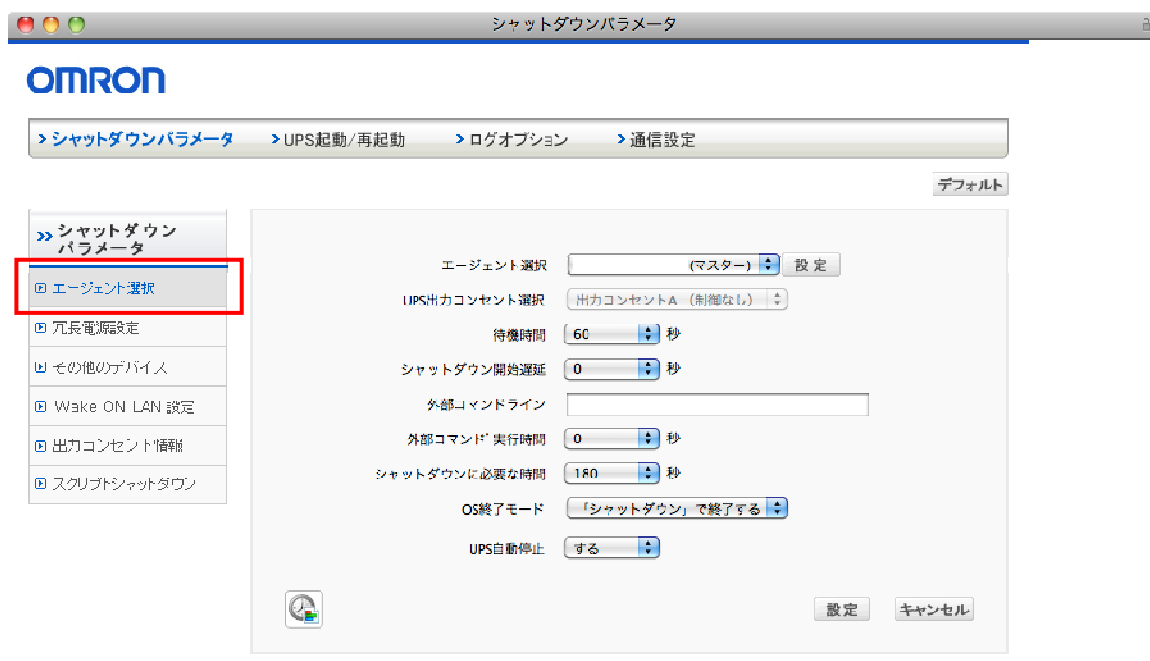
- 次回のシャットダウン (日時):
- 規定バックアップ時間:
- 2010-03-24 10:40:43 「バッテリー使用開始日 (交換日)」を更新しました (マスタ)
- 2010/03/23:2010/03/24:2011/03/23]
- 「バッテリー使用開始日 (交換日)」を更新しました (マスタ)

【シャットダウンパラメータ】

■エージェント選択

マスターエージェント／スレーブエージェントのシャットダウン動作に関する設定を変更することができます。

※マスター／スレーブエージェントすべてのコンピュータのシャットダウン設定を変更できます。



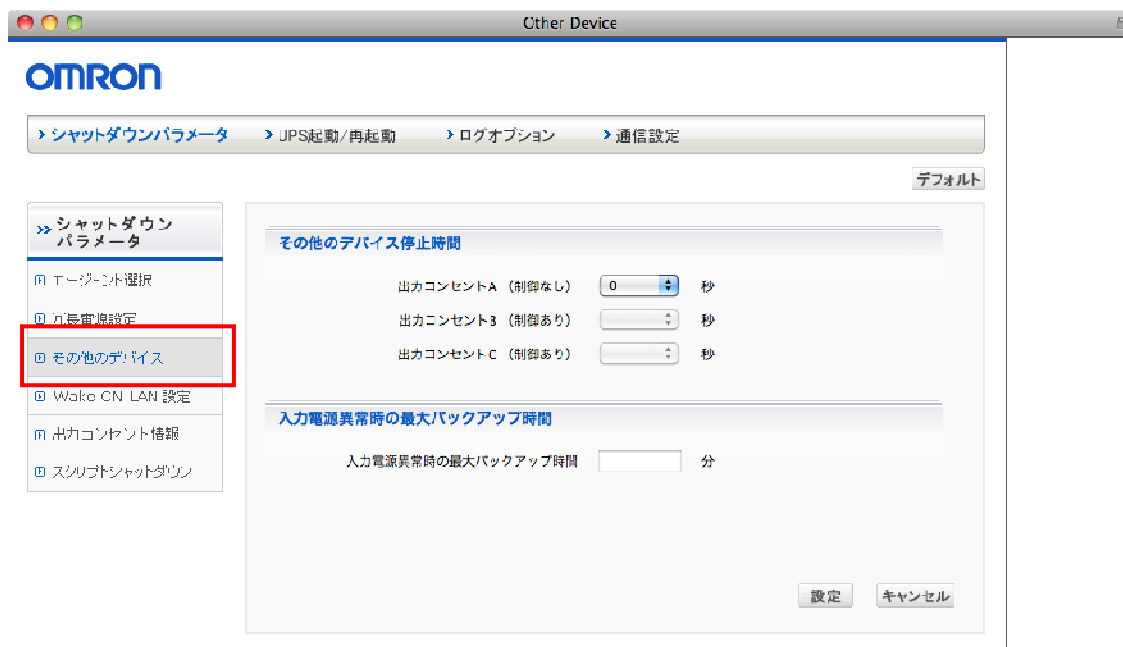
項目	設定内容与方法
エージェント選択	エージェント(マスター／スレーブ)を選択します。
UPS 出力コンセント選択	PowerAct Pro マスターエージェントをインストールしたコンピュータがどの出力コンセントに接続されているかを選択します。 ※出力コンセント制御をサポートしていないUPSをご使用する場合は選択不要です。
待機時間	電源異常が発生してからシャットダウン動作を開始するまでの待機時間を秒単位で設定します。 0～36000 秒の範囲で選択できます。(デフォルトは 60 秒。0～60 秒までは 10 秒間隔、60～36000 秒までは 60 秒間隔)
シャットダウン開始遅延	複数台のコンピュータがある場合、他のコンピュータとシャットダウン開始のタイミングを遅らせたい場合に設定します。 60 秒間隔で 0～600 秒の範囲で選択できます。(デフォルトは 0 秒)
外部コマンドライン	シャットダウン動作が開始されると同時に起動されるプログラムのコマンド名を入力します。例えば、バックアップデータを特定のディスクに保存するなどのプログラムが考えられます。

OMRON	PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド	
	マスターエージェント for Mac	Rev C

外部コマンド実行時間	外部コマンドの実行に必要な時間を設定します。60秒間隔で0～600秒の範囲で設定できます。 なお、この時間が経過するまでは、シャットダウン動作を一時停止します。 (デフォルトは0秒)
シャットダウンに必要な時間	OSのシャットダウンに必要な時間を設定します。 60秒間隔で0～1800秒の範囲で選択できます。(デフォルトは180秒)
OS終了モード	OS終了モードは「シャットダウンで終了する」固定です。
UPS自動停止	コンピュータのシャットダウンが完了した後、UPSを自動的に停止するかどうかを設定します。

■その他のデバイス

その他のデバイスに関するシャットダウン設定を変更することができます。



項目	設定内容と方法
その他のデバイス停止時間	各コンセントの[その他のデバイス停止時間]を 0～600 秒の範囲で入力欄右側の矢印をクリックすると表示されるリストから選択して設定します。 ※出力コンセント制御機能のない UPS を接続している場合はコンセント B および C の設定はできません。
入力電源異常時の最大バックアップ時間	PowerAct Pro によるシャットダウンとは別に UPS 本体側に入力電源異常時の最大バックアップ時間を設定できます。 通常は入力不要ですが、サーバーが起動していない時に停電があった際も一定時間後に UPS を自動停止させたい場合に入力します。

※出力コンセント制御をサポートしている UPS をご使用の場合は出力コンセント B・出力コンセント C の項目に必ず時間を設定してください。

デフォルトは 0 秒に設定されており、待機時間が経過したと同時に出力コンセント B・出力コンセント C は出力停止します。

※出力コンセント制御機能付き UPS (Mac 対応機種のみ)

BN220S／BN300S／BN100XR／BN150XR／BN240XR

BU75RW／BU100RW／BU200RW／BU300RW

■出力コンセント情報

[出力コンセント情報]をクリックすると、マスターエージェント・スレーブエージェント全てのシャットダウン設定を一覧で確認することができます。

Outlet Information

OMRON

> シャットダウンパラメータ > UPS起動/再起動 > ログオプション > 通信設定

シャットダウンパラメータ

- エージェント選択
- 冗長電源設定
- その他のデバイス
- Wake ON LAN 設定
- 出力コンセント情報**
- スクリプトシャットダウン

注意
出力コンセントAの停止時間が、出力コンセントBまたはCより短い場合は、出力コンセントAは、出力コンセントBまたはCの停止時間経過後に停止します。

入力電源異常

シャットダウン開始

omron-no-iMac.I (マスター)

待機時間 60 秒

シャットダウン開始 遅延 0 秒

外部コマンド 実行時間 0 秒

出力コンセントA (制御あり)

出力コンセントA (制御あり) を停止する時間: 180 秒

出力コンセントB (制御あり)

出力コンセントB (制御あり) を停止する時間: 0 秒

シャットダウンに必要時間 180 秒

その他のデバイス 停止時間 0

■スクリプトシャットダウン

UPS に接続されている機器に対し LAN 経由でリモートログイン(Telnet/SSH V1/SSH V2)し、スクリプトコマンドを送信して、サーバ等をシャットダウンさせます。(サーバにシャットダウンソフトのインストールは必要ありません)

※本機能を利用するには、サーバ側で「Telnet」もしくは「SSH」のサービスを有効にしておく必要があります。

※スクリプトシャットダウンでシャットダウンできない機器もありますので、必ず動作確認を行ってください。

【スクリプトコマンド例】

	Telnet	SSH V1
Windows	shutdown -s -f	非対応
Linux (RHEL5)	/sbin/halt	/sbin/halt
Sun OS	/usr/sbin/halt	/usr/sbin/halt
Mac	/sbin/halt	/sbin/halt

スクリプトシャットダウン設定を新規に登録される場合は[追加]を押してください。

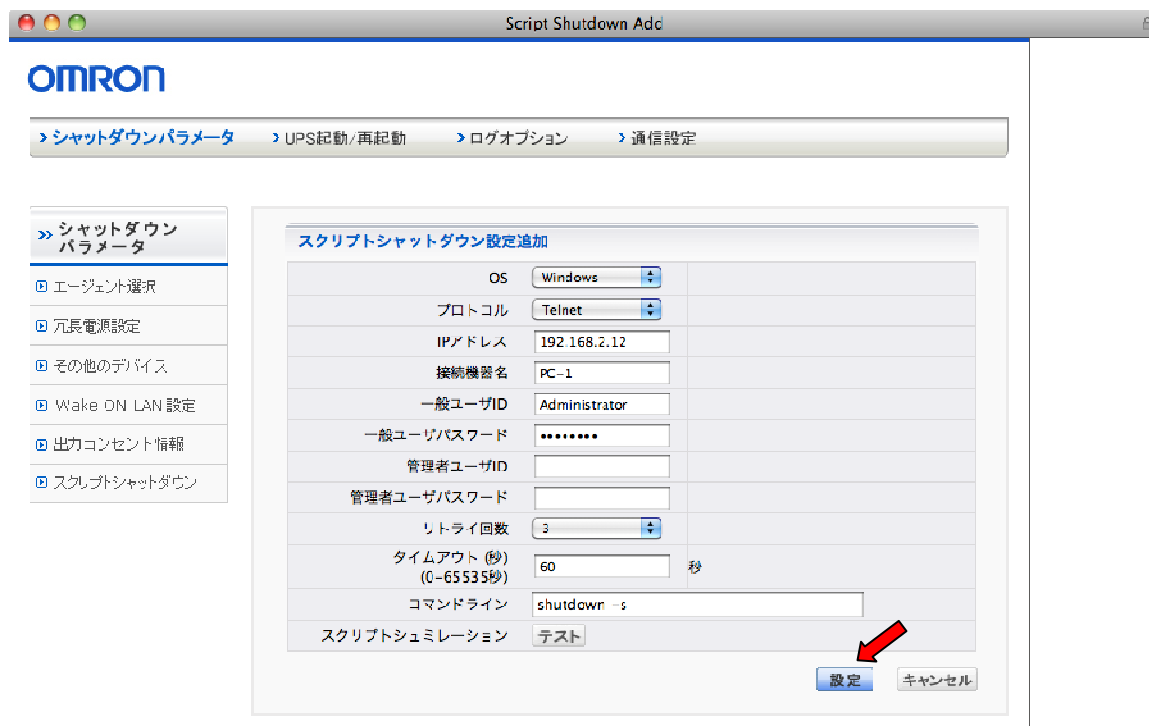


OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

スクリプトシャットダウンに必要な各設定を入力し、[設定]を押してください。





PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド

マスターエージェント for Mac

Rev C

項目	設定内容と方法
OS	スクリプトシャットダウンを実行したい機器の OS を選択します。
プロトコル	リモートログインに使用するプロトコルを選択します。 対応プロトコル: Telnet、SSH V1、SSH V2
IP アドレス	スクリプトシャットダウンを実行したい機器の IP アドレスを入力します。
接続機器名	スクリプトシャットダウンを実行したい機器の名称を設定します。
一般ユーザ ID	スクリプトシャットダウンを実行したい機器のログインに有効な一般ユーザ名を指定します。管理者権限(root 権限)のユーザ ID を設定してください。もし管理者権限でリモートログインできない場合は[一般ユーザ ID]の欄に一般ユーザ権限のユーザ ID を設定し、合わせて次項の[管理者ユーザ ID]に管理者権限のユーザ ID を設定してください。
一般ユーザパスワード	一般ユーザ ID のパスワードを指定します。
管理者ユーザ ID	上記の一般ユーザ ID が管理者権限でない場合、管理者権限のあるユーザ ID を指定します。一般ユーザ ID が管理者権限である場合は設定不要です。
管理者ユーザパスワード	[管理者ユーザ ID]設定時のみパスワードを指定します。
リトライ回数	ログインに失敗した際の再試行の回数を選択します。
タイムアウト(秒)	ログインの際のタイムアウト時間を設定します。30 秒以上を目安に設定してください。短いとログインに失敗することがあります。
コマンドライン	マスターエージェントがシャットダウン動作を開始した際に実行するコマンドラインを指定します。コマンドの詳細は前頁の表を参照ください。
スクリプトシミュレーション	[テスト]ボタンをクリックすると、設定した内容でスクリプトシャットダウンのテストを実行することができます。

【UPS 起動／再起動】

■UPS 再起動設定

UPS の再起動に関する設定を行えます。



項目	設定内容と方法
UPS 自動再起動	電源異常が回復した後で、UPS を再起動するかどうかを設定します。
UPS 起動遅延時間	電源異常が回復した後で、UPS を再起動するまでの遅延時間を秒単位で設定します。
バッテリー容量オーバ	設定されたバッテリー容量に充電されるまで、UPS を起動させたくない場合に設定します。
UPS 起動時の出力開始遅延時間	UPS が起動するときに、出力コンセント別に出力遅延時間を秒単位で設定します。ただし、出力コンセント A については 0 秒固定です。
UPS コールドスタート機能	UPS コールドスタート機能を有効にするか設定します。コールドスタート有効に設定すると、UPS は電源入力がない環境でも起動させることができます。入力欄右側の矢印をクリックすると表示されるリストから選択して設定します。

【通信設定】

■通信設定

UPS の通信に関する設定を行えます。



項目	設定内容と方法
ポート追加	USB 接続の場合はこの項目は使用しません
自動選択	クリックすると、コンピュータのすべての通信ポートが検索され、見つかった UPS が通信ポート一覧に表示されます。
修正	USB 接続の場合はこの項目は使用しません
削除	削除欄のマークをクリックするとその欄の通信ポートが削除されます。
ネットワークポート設定	<ul style="list-style-type: none"> ご使用のネットワークの状況に合わせて、HTTP、HTTPS、SMTP、SNMP、Syslog ポートの各ポート番号を設定します。通常は、デフォルト値を使用します。もし他のサービスとポート番号が重複している場合は、別の番号を設定してください。 [リモートアクセス禁止]を選択するとリモートコンピュータからの操作を禁止することができます。 [SNMP]は SNMP 管理を行う場合に“する”に設定します。この場合、SNMP マネージャに対して、UPS 管理情報の送信を行います。 [ブロードキャスト]は通常は“する”に設定してください。“しない”に設定すると、PowerAct Pro はスレーブエージェントの連携シャットダウンを行うことができません。
ページ設定更新	PowerAct Pro モニタ画面の更新間隔を設定します。
ログオフ時間	PowerAct Pro モニタの自動ログアウト時間を設定します。

■復電時の自動起動について

停電から復電した際に OS を自動再起動するためには、OS に対して以下の設定を行ってください。

- ① [システム環境設定] - [省エネルギー] の画面を開いてください。
- ② 「停電後に自動的に起動」にチェックを入れてください。



これで、停電からの復電時に、OS が自動起動するようになります。

8. スケジュール運転の設定

■機能説明

日時を指定し、「UPS の停止／起動」や「UPS の自己診断テスト」などを行うことができます。日時の指定以外に、「毎週」「毎月」という指定もできます。これらを指定し UPS を使用することをスケジュール運転といいます。スケジュール運転を一覧表示し、個別に設定変更、削除を行うことができます。

※スケジュール運転時に電源異常などが発生した場合は、現在のスケジュール運転はキャンセルされ、次のスケジュール運転の設定に従って動作します。



■スケジュール運転の一覧表示

スケジュール運転の状況を一覧表示できます。[スケジュール]をクリックしてください。

The screenshot shows the 'Power Act Pro Monitor' application window. The left sidebar contains several menu items: '環境設定' (Environment Settings), 'スケジュール' (Schedule), 'イベント情報' (Event Information), 'イベントログ' (Event Log), 'データログ' (Data Log), '終了アプリケーション情報' (Terminated Application Information), 'エージェント 検索' (Agent Search), and 'ヘルプ' (Help). The 'スケジュール' item is highlighted with a red box, and a callout bubble with the text 'クリック' points to it. The main content area displays system information such as 'UPS 型式: BZ50LT2', 'UPS 状態: 商用運転中', and various voltage and frequency readings. At the bottom, there is a log of events with timestamps and descriptions.

現在登録されている[スケジュール運転]の一覧が表示されます。



項目	内容
スケジュール運転追加/削除	[スケジュール運転 追加/削除]画面が表示され、スケジュール運転を追加できます。
スケジュール項目	設定されているスケジュール運転の運転間隔が表示されます。「指定日」、「毎週」、「毎月」が表示されます。
運転	スケジュール運転の運転内容が表示されます。「停止日/起動日」(UPS の停止/起動)、「バックアップ時間テスト」、「自己診断テスト」のいずれかが表示されます。
停止/実施日	運転項目の内容を実行する日付が表示されます。
時間	停止/実施の時刻が表示されます。
起動/終了日	スケジュール運転の起動/終了が行われた日付が表示されます。
時間	スケジュール運転の起動/終了が行われた時刻が表示されます。
修正	 ボタンをクリックすると、スケジュール運転の設定を変更できます。
削除	 ボタンをクリックすると、設定されているスケジュール運転を削除できます。 削除する場合は、スケジュール内容を削除していいか再確認のうえ削除を行ってください。
スケジュール追加	[スケジュール運転 追加/削除]画面が表示され、スケジュール運転を追加できます
キャンセル	設定したスケジュール運転を登録しません。[スケジュール運転]画面を終了します。

■スケジュール運転の設定方法

ここでは、スケジュール運転の新規追加、修正、削除の設定手順について説明します。



[新規にスケジュール運転を登録する場合の設定手順]

1. [スケジュール運転]画面の[スケジュール追加]ボタンをクリックします。
2. [スケジュール運転 追加/削除]画面が表示されます。

スケジュール運転項目を設定してください。



項目	意味
スケジュール運転	スケジュール運転の一覧が表示されている[スケジュール運転]画面が表示されます。
スケジュール運転項目:	<p>運転項目欄をクリックすると、プルダウンメニューに「停止日/起動日」、「バックアップ時間テスト」、「自己診断テスト」が表示されるのでクリックして選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・停止日/起動日: システムを停止させたり起動させたりします。 ・バックアップ時間テスト: 推定バックアップ時間を補正するためのテストです。 ・自己診断テスト: 自己診断テストを実施します。 <p>また、指定日欄をクリックすると、プルダウンメニューに「指定日」、「毎週」、「毎月」が表示されるのでクリックして選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定日: 指定日にスケジュール運転を実施します。 ・毎週: 毎週 設定されている曜日にスケジュール運転を実施します。 ・毎月: 毎月 設定されている日にスケジュール運転を実施します。
設定	設定した内容でスケジュール運転を登録します。
キャンセル	設定したスケジュール運転を登録しません。[スケジュール運転 追加/削除]画面を終了します。

3. [設定]ボタンをクリックします。

※[設定](OK)ボタンをクリックせずに、[スケジュール運転]画面を終了すると、設定したスケジュール運転は、登録されません。

9. シャットダウン動作の流れ

PowerAct Pro は、次のイベントが発生するとシャットダウン動作を開始します。

【UPS からのシャットダウン情報】

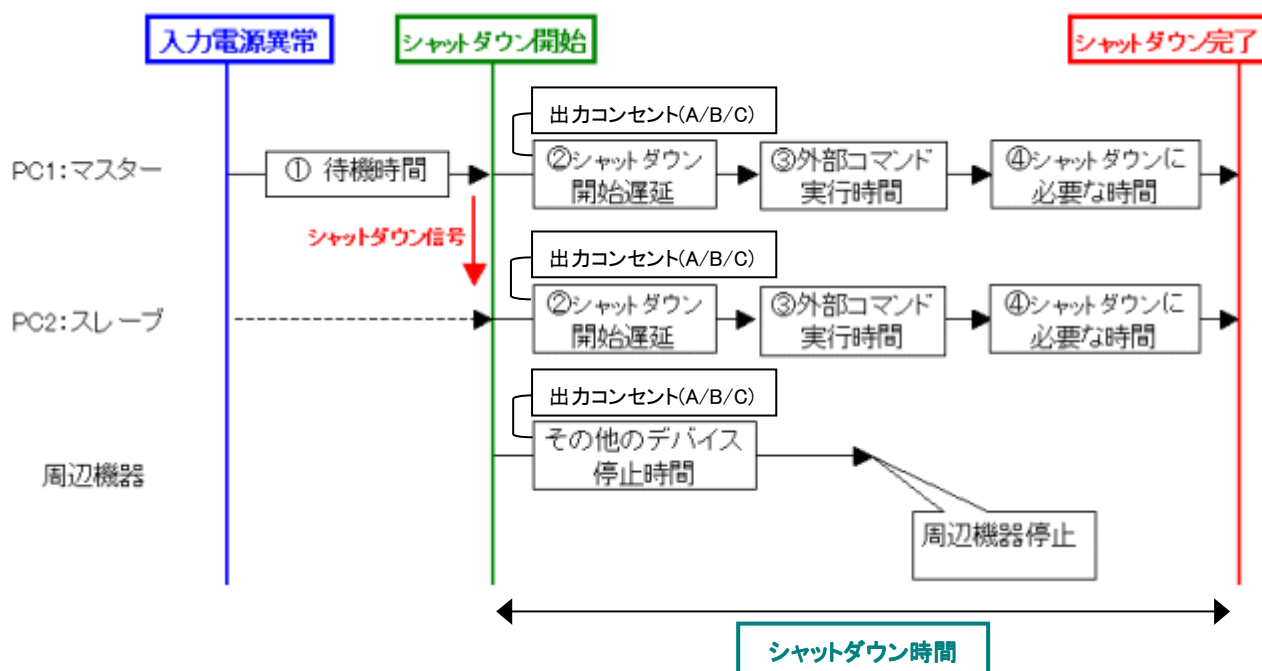
- 1) 「待機時間」で設定した時間以上「入力電源異常」の情報を UPS から受け取り続けたとき
- 2) 「バッテリーロー」の情報を UPS から受け取ったとき

【ユーザ設定によるシャットダウン情報】

- 1) スケジュール設定によるシャットダウンを実行したとき
- 2) 即時シャットダウンを実行したとき

これらのイベントが発生すると、本ソフトウェアは OS を自動終了させ、UPS を自動停止します。

シャットダウン動作は次の図の順序で進行します。PowerAct Pro マスターエージェント(以下マスター)がインストールされた PC1、PowerAct Pro スレーブエージェント(以下スレーブ)がインストールされた PC2、およびテープドライブなどの周辺機器が UPS に接続されている場合のシャットダウンの流れについて説明します。



OMRON**PowerAct Pro Ver 4.x インストールガイド**

マスターエージェント for Mac

Rev C

入力電源異常	入力電源異常(停電など)が発生しました。UPS から接続している機器へ電力供給を開始します。
シャットダウン開始	待機時間を経過しても入力電源異常(停電など)が回復しなかったため、シャットダウンを開始します。マスターのシャットダウン動作にあわせて、マスターはスレーブに対してネットワーク経由でシャットダウン信号を送信します。スレーブは、設定されている時間設定(以下の(2)~(4))に従ってシャットダウン動作を開始します。 ※「シャットダウン開始」後、入力電源が回復すると UPS はバックアップ運転から商用運転に戻りますが、OS のシャットダウンと UPS のシャットダウンは行いません。UPS が停止するまでは、コンピュータの電源を入れないようにしてください。
シャットダウン完了	設定した時間が経過したので、UPS を停止しました。
出力コンセント(A/B/C)	各マスター、スレーブ、周辺機器が接続されている UPS の出力コンセント(A/B/C)を設定します。 ※出力コンセント制御機能を搭載している機種のみ出力コンセント A/B/C の設定可能です。機能を搭載していない機種の時は出力コンセント A のみ設定可能です。
①待機時間	入力電源異常(停電など)を検出しても、設定されている時間を経過しなければ、シャットダウンを開始いたしません。 待機時間中に UPS のバッテリーが「バッテリーロー」になった場合は、待機時間が経過していても直ちにシャットダウン開始を実行します。 待機時間中に、スケジュール運転開始時間になった場合は、待機時間が経過していても、直ちにシャットダウン開始を実行します。 ※この時間を長く設定しすぎると、UPS の内部バッテリーが消耗し、バックアップ能力がなくなります。この場合、システムを正常にシャットダウンする前に UPS が停止してしまう場合があります。
②シャットダウン開始遅延	シャットダウン開始後、さらにシャットダウン開始を遅延させたい場合に、遅延時間を設定してください。例えば、シャットダウン開始してから1分後にシャットダウンを開始したい場合は、この遅延時間を 60 秒に設定してください。
③外部コマンド実行時間	外部コマンドを設定した時間だけ実行することができます。設定した時間が経過するまでは、次の動作(アプリケーション終了や OS シャットダウン処理)を行いません。
④シャットダウンに必要な時間	アプリケーションソフトと OS のシャットダウンにかかる時間を設定してください。 ※システムを正常にシャットダウンする前に UPS が停止するような場合は、この時間を現在設定している時間より長く設定してください。
⑤その他のデバイス停止までの時間	周辺機器(例えば、ルータ、モデム、テープストレージなど)の電源を切る時間を設定することができます。
シャットダウン時間	②~⑤で設定された時間に従って、各コンセント毎にシャットダウン時間が定義されます。もし同一出力コンセントで設定が重複した場合は、シャットダウン時間の長い設定が優先されます。 【具体例】下記の条件で設定されている場合 ・マスターPC…出力コンセント A/シャットダウン時間120秒 ・スレーブ PC…出力コンセント A/シャットダウン時間180秒 ・周辺機器…出力コンセント A/シャットダウン時間60秒 →出力コンセント A はシャットダウン時間180秒で動作する

10. シャットダウン動作の確認

ここでは次の手順でシャットダウン動作が実行されることを確認します。

※複数台のコンピュータをシャットダウンさせる場合は、下記の確認に入る前に、PowerAct Pro スレープエージェント用のコンピュータに対してインストール作業を完了させておいてください。スレープエージェントのインストール方法については別紙のインストールガイドを参照ください。

■シャットダウン動作の確認

1. [PowerAct Pro モニタ]画面を表示した状態で、UPS の電源入力プラグをACコンセントから抜きます。
2. UPS がバックアップ状態になり、[PowerAct Pro モニタ]画面の「UPS 状態」が[商用運転中]から[バックアップ中]に変化し、入力電圧 0V、入力周波数が 0Hz になります。
3. 電源入力プラグを抜いてから約 30 秒後に[入力電源異常 システムは 30 秒以内にシャットダウンを開始します]とメッセージが表示されます。
4. 上記メッセージが表示されてから約 30 秒後にシステムシャットダウンが開始され、システムが自動終了します。
5. システムシャットダウンが開始されてから約 3 分後に UPS が自動的に切れます。コンピュータに電力が供給されなくなります。
シャットダウンに必要な時間調整は、[PowerAct Pro モニタ]の「環境設定」→[シャットダウンパラメータ]を選択して[シャットダウンに必要な時間](Shutdown Need Time)を設定してください。
6. UPS が自動的に切れたことを確認してから、UPS の電源入力プラグをAC100Vのコンセントに接続します。自動的にUPS が起動しコンピュータへ電力が供給されます。このときコンピュータの電源が自動的に入ります。なお、コンピュータの機種によってはコンピュータの電源が入らない場合があります。この場合は、コンピュータの電源を自動起動させる方法はありませんので手動でコンピュータの電源を入れてください。

以上でシステムシャットダウン動作確認は終了です。

【注意】上記操作手順の動作時間は、設定がデフォルト値の場合です。

11. バッテリー交換時の設定

バッテリーの使用開始設定画面が表示された場合は、次の設定を行ってください。

UPS を使用開始した時やバッテリーを交換したときは、次の手順でバッテリー使用開始日を設定します。

バッテリー使用開始日(交換日)を設定することにより、定期メンテナンス(バッテリー交換)を実施する時期を前もって予定することができます。バッテリーの交換方法については UPS の取扱説明書を参照してください。

[設定手順]

変更したい項目を選択し、上下のアイコンで値を変更します。

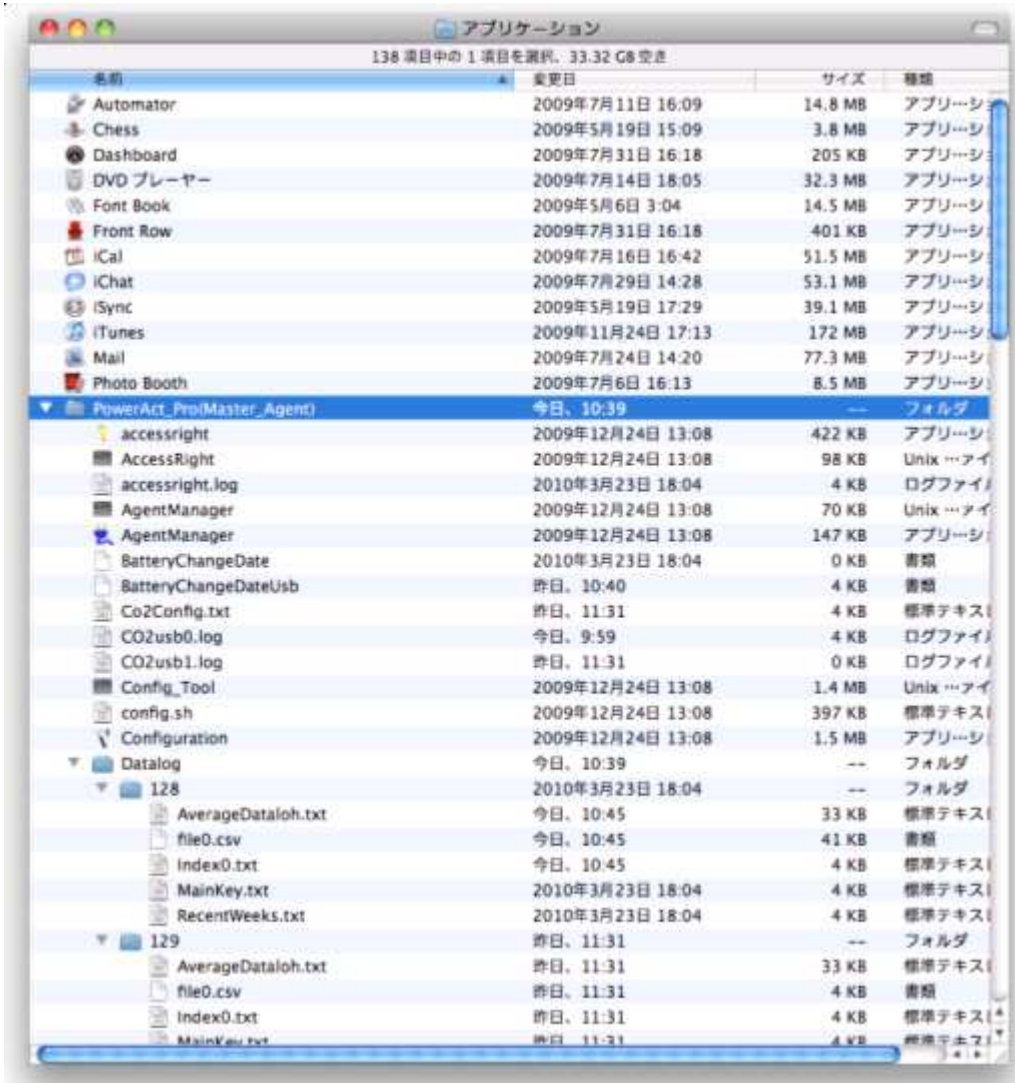


[設定]ボタンをクリックして交換日を設定します。[キャンセル]をクリックすると、指定した日付が設定されません。

12. アンインストール手順

本ソフトウェアをアンインストールする場合は次の手順でアンインストールします。

- ① [アプリケーション]フォルダの[PowerAct Pro(Master Agent)]フォルダを選択してください。



- ② フォルダ内の[UninstallMasterAgent]アイコンをダブルクリックしてください。

SSL_Config_mac	2009年12月24日 13:08	274 KB	アプリケーション
UninstallMasterAgent	2009年12月24日 13:08	168 KB	アプリケーション
UPS Setting.ini	2009年12月24日 13:08	4 KB	テキスト書類

- ③ シャットダウンソフトの削除の確認を求められます。[OK]をクリックしてください。
アンインストールを中止する場合は[キャンセル]をクリックします。
- ④ 認証画面が表示されるので、OS 管理者のユーザ名とパスワードを入力し[OK]をクリックします
- ⑤ 「Master Agent をアンインストールしました」と表示されます。[OK]をクリックしてください。
以上で、PowerAct Pro マスターエージェントのアンインストールは終了です。